立斎艸筆画譜　二編
213

草筆画譜

二編

広重筆

松林堂寿梓

草筆畫譜二編序

筆に真艸行の三體あり。人も亦是に一般。禮服を着るは真あり。近処の形容を行あり。舎におりて寛ぐは草あり。己が素より酒客なるゆゑ、是を酒に比するに、酒をすゝむれば斉しく或は献の禮最は真あり。茶亭は楼上の宴は行あり。家に帰りて随意酒は艸也。頃日独盃に酒の草略を学ぶの閑あり。筆器のなるし画譜初編の嗜好に味そしめ、

哥舞妓なる
我親の名乃
式三番
祖父に
似て
三番
翁とも
なれ

式亭
小三馬叟焚

公

よう見ても
女ありけり
男舞

衣くふ
ゆがむ
帯き
太刀は
ひとかり

近江八景

年禮
萬才
六歌仙

海若苅
五月雨
在郷

道成寺
鏡山
三段目
阿こや

鉢の木
夜討
九段目
助六
勧進帳
政岡

山家
二見
住吉

洲崎
品川汐干
永代橋
七里濱
戸田渡

國府臺
大猪川
切通し

梅屋舗
吾妻森
亀戸
佃沖

甲斐
室の津
明石浦
一ノ谷

源氏物語
いせ物語
不二沼
屏風岩

山家
國栖翁
甲 大月原
首尾ノ松

雨柳
風柳

粂仙人

五条橋
百物語

三都書林

京 吉野屋勘兵衛
大坂 敦賀屋九兵衛
同 綿屋喜兵衛
東都 須原屋茂兵衛
同 同 伊八
同 山城屋佐兵衛
同 同 政吉
同 出雲寺萬次郎
同 和泉屋市兵衛
同 山口屋藤兵衛
同 森屋治郎兵衛
同 丁子屋平兵衛
同 山崎屋清[illegible]
同通油町 藤岡屋慶次郎